

ごあいさつ

皆さんがヒグマと聞いて思い浮かべるものは何でしょうか？今まさに各地で相次いでいる遭遇事故？数年前に札幌市東区に出没したあのヒグマ？開拓時代に起きた惨劇？ヒグマが関係する事故についての報道に接する機会が増えたこともあり、漠然と「怖い」「恐ろしい」といったイメージを持っている人も多いことでしょう。

当初は展示制作グループの私たちも、ヒグマの「怖さ」を前面に打ち出した展示を企画していました。しかし、札幌市のヒグマ対策に関わっている専門家の方々にお話を伺う中で、ヒグマに対する私たちの考え方は大きく変わりました。「個性」や「歴史」といったキーワードをもとにすれば、ヒグマと人間の関係性をより幅広い視座から捉えることができると気づかされたのです。そして、この気づきをぜひ皆さんと共有したいと思って作り上げたのが、今回の展示です。

私たちはこの展示を、ヒグマと人間の「共存」について皆さんと一緒に考えていくきっかけにしたいと思っています。私たちがヒグマのとなりで、「つかず、はなれず」の適度な距離感を保ちながら、ヒグマとともに生きていくにはどうしたらよいのでしょうか。

「共存」についての考えを深めていくための手がかりを、今回の展示の中から見つけ、持ち帰ってみませんか。

最後になりましたが、本展示の企画に多大なご協力をいただきました特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所の皆さま、札幌市広報課、北海道新聞社、文学研究院をはじめとする北海道大学の教職員及び学生の皆さまに、心から御礼申し上げます。

2023年5月26日

北海道大学大学院文学研究院



総合教育研究棟
V棟) →

E棟・動物舎



開催期間: 2023年5月26日(金)~8月6日(日)
会場: 文学部1階 書香の森

